

科目名	人間と科学Ⅱ(法学)	英語科目名	Cultural Science II (Law)	
開講年度・学期	平成27年度・後期	対象学科・専攻・学年	5年全学科	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	1単位	単位種類	履修単位	
担当教員	岩佐富男	居室(もしくは所属)	非常勤講師控え室(管理棟1F)	
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
	1. 法(Recht)と法律(Gesetz)の本質及びその違いを理解し説明できること。	①	D	a
	2. 人権の歴史を市民法・社会法の視点から理解し説明できること。	①	D	a
3. 法解釈学の基礎及び法令用語を習得し、もって論理的な文章作成に役立てられること。	⑥	E	f	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
上記3点について、授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容)及び定期試験(70%)によって総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。				
評価方法				
授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容): 30%				
定期試験: 70%				
授業内容				
1. 法とは何か。法の目的と手段, 自然法と実定法				
2. 市民法と社会法① 人権の歴史の概観, 2つの国家と2つの人権				
3. 市民法と社会法② 形式的平等と実質的平等				
4. 法の解釈① 解釈学の大系				
5. 法の解釈② 法令用語と解釈				
6. 民法① 人, 契約, 時効				
7. 民法② 親族, 相続, 2大損害賠償規定				
8. 刑法 罪刑法定主義の原則, 犯罪とは何か				
9. 会社法① 会社の種類, 株式会社と持分会社				
10. 会社法② 株式会社の機関				
11. 手形法・小切手法 約手, 為手, LC貿易				
12. 労働基準法① 歴史と本質, 片面的強行法規				
13. 労働基準法② 賃金, 時間, 就業規則, 解雇				
14. 借地法・借家法 契約及び更新				
15. 法令用語に基づく論述文 法律の文章の論理性				
キーワード	国家, 国民, 形式と内容, 論理			
教科書	使用しない。レジュメを配布する。			
参考書	『法学講義』岩佐富男著, 多賀出版			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	政治・経済, 歴史学			
現学年の関連科目	人間と科学 I			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。				
シラバス作成年月日	平成27(2015)年2月25日			